

最新刊

マスタール・オブ・アーツ 谷川義男著

羊の歩み

四六版クロース上製
紙數約六百頁
定價金參圓八拾錢
送料貳拾四錢

著者は人も知る我國論壇に於て獨自の地歩を占むる人、題して『羊の歩み』と云ふ、本書收むる所、學術・宗教・教育・社會事業に關するの論文あり、信仰・感想・紀行あり、いづれも著者の高邁なる識見と尊き體驗より逆り出でたるもの、議論のための議論、様々の主義主張に聊か食傷の感ある今日、本書論ずるところ、其の片言隻句と雖も苟も空疎なる考へ方を許さない眞摯なる著者の肺肝よりの滲みであり、至純なる體驗的産物ならざるはない。就中宗教篇・社會事業篇及び信仰・感想篇の如きは著者の最も得意の擅場であり、また紀行篇は獨・佛・英・米等海外に足跡遍き著者がその齎すところの數十葉の寫真と共に繙くもの宛ら著者と共に遊ぶの感あり、その他いづれの篇と雖も再讀三讀、津々として盡きざる滋味と自ら其鳴を禁じ得ざるものがある、敢て一本を薦む。

振替口座大阪
一四八四番

同朋舎出版部

京都下市都京
壬生川通五條下

發行所

北川智聖譯著

危く發賣禁止をまぬがる

最新刊

邪淫戒

新譯小説

四六判三八六頁
極美上製函入
定價貳圓八拾錢
送料十錢

賣切れ近し!! 至急御注文あれ!!

本書一卷に盛られたる内容は、人間情慾の大争闘、赤裸々なる性の活描寫である。比丘、比丘尼の情事、禁慾に堪へ得ずして犯せる罪、失戀、煩悶の極あらゆる不倫、淫行を敢へてせる破戒行為に就き、一々その動機より進んで經過、結末に到るまでの顛末を精細に叙述し最後に是に對する佛陀の禁戒を述べて居る。これを縦斷的に見れば男女情慾の深刻にして驚嘆すべき暴露でありこれを横斷的に見れば熱帶の豊熟せる自然が生んだ灼熱の一大情史である。其筋の命令により二九九頁より三〇二頁まで削除す。不惡御諒恕を希ふと共に切に御愛讀を祈る。

◆次目るな主◆

- 序稿……四波羅夷……男女の淫行……殺人比丘……自瀆……肉身の相離……猥談……肉の讚美……男女の媒合……
- 提婆の大逆……提婆の處分……破和合僧……暫間比丘……密通の疑……男女の對座……三十捨墮法……蓮華色比丘尼……人工懷妊……純羊毛の寢具……壞色の制……阿陀律と淫女……猥褻の袈裟……墮落ちの道伴れ……瓶沙王の浴池……末利婦人……比丘尼戒……比丘尼の嫌曳……闍陀の妹……比丘尼の渡河……美人局……比丘尼と月經三處毛……不淨洗滌……欲心熾盛……夫婦比丘尼……同性愛……異性との接近……裸體暴露……人妻の寢所……懷妊比丘尼……淫女と具戒……戀に狂ふ女……尼の化粧……尼と裝身具……兩性比丘尼……犯淫者の處分……性的變化……
- ……人肉供養(其他數十項)

印刷の鮮明と

価格の低廉は

他の追従を許さず

技の優秀と術の洗練は

共に我社の誇なり

諸印刷・出版

民文社

京都市上姉小路千本
電話西陣一九三番